

十九の春

作詞:[補作詞]木村裕助作曲:沖縄俗謡歌

私があなたに 惚れたのは
ちようど十九の 春でした
いまさら離縁と 言うならば
もとの十九に しておくれ

もとの十九に するならば
庭の枯れ木を 見てごらん
枯れ木に花が 咲いたなら
十九にするのも やすけれど

見捨て心が あるならば
早くお知らせ 下さいね
歳も若く あるうちに
思い残すな 明日の花

一銭二銭の 葉書さえ
千里万里と 旅をする
同じゴザ市に 住みながら
会えぬ我が身の 刹那さよ

主さん主さんと 呼んだとて
主さんや立派な 方がある
いくら主さんと 呼んだとて
一生忘れぬ 片思い

奥山住まいの うぐいすが
梅の小枝で 昼寝して
春が来るよな 夢を見て
ホケキヨホケキヨと 泣いていた